



消毒しよう



マスクしよう



手を洗おう



換気しよう

＜新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防について＞

昨年末に中国武漢で流行が始まり、世界中で猛威を奮っている新型コロナウイルス。1月からは国内でも感染者が出始め、関連のニュースを見ない日はないですね。既に緊急事態宣言が発令され解除に至った三重県ですが（R2.6.6現在）、まだ感染拡大への警戒は続いています。新型コロナの影響で人々の生活はがらりと変わってしまいました。本当に未曾有の災害としか言いようがありません。

現在、新型コロナウイルスに対する予防対策が必要な理由は、治療薬がないこと、予防のためのワクチンがないこと、有効な検査方法がないこと、感染者が発症する前の「無症候期」に最も多くウイルスを排出していること、まだウイルスの詳細がよく分かっていないこと・・・などが挙げられます。ウイルスが現れて半年以上が経過してもなお、ウイルス感染後の発症メカニズムが明らかになっていない、極めてややこしいウイルスであることは確かです。全世界で治療薬・ワクチン・検査法は急ピッチで開発されつつありますが、実用化されるにはまだ時間がかかるかもしれません。目に見えないウイルスに対峙するべく、様々な感染予防対策を取る必要があります。

す。

マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスなどは、日常生活にすっかり定着しました。加えて病院では、さらなる対策を施しております。

① インターネット順番予約システム

令和元年5月から導入しました。Webでご自分の順番が見えますので、院内での待ち時間短縮に繋がります。待合室に人が集まらないので感染対策にもなります。ご自分の順番が近くなってからご自宅あるいはお車から当院へお入りください。

② 発熱・倦怠感・咳などの症状の方への対策

上記症状の方には、まず当院へお電話頂くか、玄関のインターホンからお話を頂きます。看護師が対応し、症状を院長へ連絡、必要と判断した場合は隔離室へ御誘導いたします。上記症状のある方とない方で、当院への出入り口及び動線を完全に分離していますので、院内滞在中は安心してお過ごし頂けます。

③ 入室前の手指消毒

待合室と診察室に入室されるまえに手指消毒をお願いしております。アルコール製剤とクロルヘキシジン製剤（アルコール過敏症の方）をご用意しております。

④ マスク着用・検温をお願いします

病院内に入室される全ての方にマスク着用と検温をお願いしております。どうしてもマスクが手に入らない方、マスクをお忘れの方、お子さんでマスクが出来ない方はスタッフにお申し出ください。手作りマスクを滅菌してご準備しております。検温は腋窩体温計を用いています。全てアルコール消毒済みのものをお渡ししております。お子様などでうまく測定できない場合は、非接触型体温計（額）もご準備しています。

⑤ 受付にアクリル板設置

会話時の飛沫感染予防のため、受付にアクリル板を設置し、問診票のやり取りやお会計等は小窓からお願いしております。

⑥ 問診のご記入

問診票ご記入の際に使用して頂くボールペンも、毎回アルコール消毒済みのものをお渡ししております。

⑦ 待合室のソーシャルディスタンス

待合室のソファに「×」印をつけました。お座り頂く間隔を空けて頂くため「×」印のない席にお座りください。

⑧ 待合室の雑誌類撤去

接触感染予防のため、雑誌・図書・新聞を撤去しました。

⑨ スタッフの感染防御対策（右イラスト）

直接患者様に触れることの多い医師・看護師は、アイソレーションガウン、サージカルマスク、アイ（フェイス）シールド、手袋、キャップ（義務ではない）を着用しています。患者様と会話をする事の多い事務スタッフは、サージカルマスクとアイシールドを着用しています。スタッフの感染予防に加え、スタッフが万が一感染していた時にも患者様の安全のために行っている対策です。

⑩ スタッフの頻回な手指消毒・手袋交換

診察室でよく観察して頂くと、医師・看護師はお一人の患者様の診察・処置の間に何度もアルコール消毒をしているのに気が付かれると思います。手袋も処置に応じて交換します。

⑪ 処置室・待合室の頻回な消毒

看護師・事務スタッフが空いた時間に頻回にアルコールによる椅子・机・ドアノブ・カウンターの消毒を行っています。

⑫ 診察室・待合室の常時換気

空調を使用しつつ窓を開放し、常時換気に努めています。

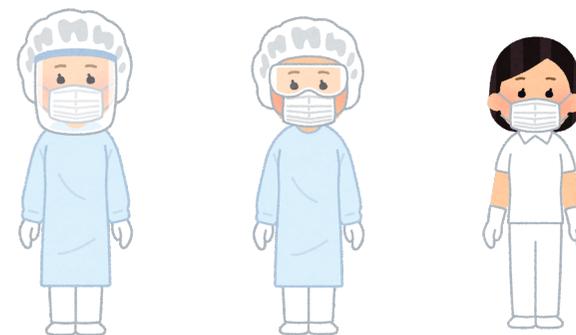
⑬ お会計はトレー越しに

お会計の際は、手と手が接触しないようトレーを介して行っています。

<隔離室について>

従来「点滴室」として用いていた部屋を「隔離室」として使用しています。通常、熱や咳・倦怠感など、新型コロナウイルスを疑う症状をお持ちの方は、スタッフが誘導し医院入り口とは別のルート（裏口）から入室頂きます。部屋のドアから約2mの位置に椅子と荷物置きを設置、患者様は椅子に座って待機頂き、院長が診察に伺います。ドア付近から問診をし、診察時のみ近づきます。窓は常に開放しています。診察後はスタッフがお会計に伺い、裏口からご退室いただきます。

中には「コロナ扱いされた」「隔離され気分を害した」と思われる方があるかも知れませんが、冒頭で述べたように、検査法も治療法もない今は、少しでも疑いのある症状をお持ちの方に関しては極力「隔離」という方法を取らざるを得ません。万が一のための対応としてご理解頂ければと思います。



医師

看護師

事務スタッフ
(+アイシールド着用)